

Solan Primary School

4th grade news letter

Venture Fourth

2023 . Apr. 12

5日間を写真ダイジェストで振り返る

メディアクリエイターの増田さんや副担任の山本先生が、随時写真を撮ってくださっています。学年通信 Venture fourth でも、定期的にその写真をダイジェストで紹介していきます。



いよいよ2023年度のスタート！

始業式の様子です。

ラーニングコモンズには、入学式用のバルーンアートが飾られ、新生活のスタートが楽しく彩られていました。

児童数がまた一気に増えて、今後ラーニングコモンズに集合することはもしかしたら難しくなるかもしれません。

そうした「大きな変化」が恒常的に起こるのも SOLAN の大きな特徴だと思っています。

ともすれば「変わらない」を選択し続けることが当たり前になってしまう学校環境において、「変わり続ける」が自然と体現されていることはすごいことだなあと改めて思います。



大立目校長先生はじめ、たくさんの新任の先生が来られました。その中には、副担任の山本先生や金城先生の姿も。一人一人の挨拶を聞くみんなの様子は、とても楽しそうでした。コミュニケーションの第一歩は、相手の名前を覚えることです。そして、ふとすれ違った時に挨拶をすることです。廊下で会った時に、「〇〇先生こんにちは！」とあいさつを交わせれば、新しく来た先生方がどれほど喜び安心するかしれません。ぜひ挑戦してみましょう。



最初の授業開きの様子。
既に、前々号の通信で詳細はお伝えしました。
この写真は、音読のシーンです。
思い思いの場所で立って読む「タケノコ読み」がみんなのお気に入りです。一人だろうが大勢だろうが、臆することなくどんどん立ち上がる姿があちこちで見られました。
音読は、リズムに乗り、動きを伴わせることで、まるで一つのスポーツのようにもなっています。



探究の学習も早速スタートしました。

この日は、三宅先生から「すべての学年の子たちを混ぜた5人グループを作りましょう」という指示が出て、子どもたちは大混乱(笑)

それはそうです。

今までにこうした活動は一度もやったことがないのでから。

同年齢でも自分たちでグループを作るのは一苦労する中で、約100名の異年齢集団が自分たちでグループを作るわけです。

想定通り大きな混乱が起きましたが、その中でもきらりと光る行動をしている子どもたちがたくさんいました。

以前も書いた通り、4年生という学年は「先輩」の学年です。

すでに、みんなには200名近い後輩たちが学校の中にいます。

あの探究学習の時。

特に「4年生だから～～のようにしましょう」とのような指示はありませんでしたが、すでに先輩としての“自覚”のようなものが行動に透けて見える子がいて、私は嬉しくなりました。

1年生が、1年間かけて「小学生」として成長していくように、みんなにも1年かけて学校の「先輩」として成長して欲しいと思っています。

また、これから詳しく話しますが、「うまくいった体験」と同じかそれ以上に「うまくいかなかった経験」は大切です。

その失敗や挫折体験の持つ価値をいかにして広げて輝かせていくか。

ここのポイントについては、折に触れて何度も伝え続け、共に考え続けていきたいと思っています。

(今度、ご家庭で「失敗」や「間違い」についてお子さんにどのように話されているのか、お家の方々のご意見やアイデアをぜひ教えて貰えたらと思っています。)

それから、写真だけでなく、映像も所々で撮影しています。
今回は、休み時間のふとした瞬間を撮影してみました。
学年通信では、クラスの様子をこうして写真や映像でも紹介していきたいと思っています。

<https://youtu.be/t1cVs3q1mTk>



現在、室内遊びではベーゴマやかるたが人気です。
それから、楽器を弾き始める子たちも増えてきて、そろそろ楽団が結成できそうな勢いです。
昨日の昼休みは、大勢で外に出て思い切りサッカーをしました。
松田くんに2得点を決められ、私のチームは大差で敗れました。
次回はマークをきっちりつけて、ディフェンスを固める戦術で立ち向かおうと思います。